



# 市議会だより

2012  
第30号  
11月9日

とめ市議会だより 第30号

平成24年11月9日発行

発行／宮城県登米市議会 〒987-0895 登米市迫町佐字中江二丁目6番地1  
編集／広報広聴委員会 ☎02220-22-1913 FAX0220-22-9225

## 未来に向かってダッシュ! (登米幼稚園運動会)

### 目次

|                 |    |
|-----------------|----|
| 平成23年度各種会計決算を認定 | 2  |
| 常任委員会活動報告       | 8  |
| ここが聞きたい(一般質問)   | 10 |



謹んで

哀悼の意を  
捧げます。



故 菅原幸夫議員

登米市議会議員菅原幸夫氏(享年71歳)が8月1日逝去されました。

菅原議員は、昭和60年から東和町議会議員を4期、うち2期は議長を務められ、さらに合併後は、平成21年から登米市議会議員として、教育民生委員、建設水道委員、東日本大震災調査特別委員会委員長に就任されるなど、活躍されてきました。

本議会では、9月定例会の初日に出席者全員が黙祷を捧げた後、議員を代表して浅野敬議員が追悼演説を行いました。謹んでご冥福をお祈りいたします。

### 〇特別委員会人事の変更

#### 東日本大震災調査特別委員会

菅原幸夫委員長の逝去に伴い、新委員長に小野寺金太郎委員が就任しました。

#### 県に意見書を提出

登米地区統合高校(仮称)登米総合産業高等学校)の敷地面積拡大と設計見直しを求める意見書

10月18日、宮城県知事・教育長へ意見書を提出しました。

知事、教育長は「重要な問題と捉えている。県の教育予算は大変厳しいが、市と十分協議していきたい。新たに単独で用地を増やすのは厳しいので、市としても協力してほしい」との話がありました。



村井知事に意見書を手渡す田口議長

## 議会からのお知らせ

### 市議会12月定例会

12月5日(水) 開会予定  
お気軽に傍聴してください。

### 議会のホームページを開設しています。

6月に開催した「議会意見交換会」の市民意見に対する結果を掲載しましたのでご覧ください。

<http://www.city.tome.miyagi.jp/gikai/gikai-index.html>

### あとがき

「議会だより見たよ。」  
そんな声に励まされながら、平成17年創刊以来、30号の編集を終えました。

ブルーグランプリ北九州大会に、登米・油麩井の会が出場。和牛オリンピック、長崎大会には、本市の和牛13頭が出品、好成績を収めました。全国で堂々と競える自信と夢をいただきました。  
東日本大震災の復旧・復興、原発事故による放射能汚染・風評被害対策

に終始したこの一年。皆さんはどんな年でしたか。来る巳年は、平穏で自然災害の無いことをただ願うばかりです。

(関 孝)

#### 広報広聴委員会

|      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 田口 久義 |
| 副委員長 | 工藤 淳子 |
| 委員   | 遠藤 淳子 |
| 委員   | 佐々木 一 |
| 委員   | 伊藤 吉浩 |
| 委員   | 関 孝   |
| 委員   | 佐藤 尚哉 |
| 委員   | 岩淵 正宏 |
| 議長   | 田口 政信 |

# 一層の努力を 病院事業会計3年ぶり認定

9月定例会

# 合併以来最大の決算規模 725億円を認定



23年度一般会計決算認定での起立採択

## 総括質疑

田口久義議員

地方債返済の考え方は  
合併以来、地方債残高が1000億円を下回ったことがないが、減らしていく考えは。また、不用額、財政調整基金、減債基金も年々増加傾向だが、その考え方は。  
A 地方債は市債発行額が元金償還額を上回らないよう、残高の縮減に努めている。不用額の増加は、東日本震災による予算規模の増加などの影響があったもの。  
財政調整基金は、普通交付税一本算定に向け、安定した財政運営につなげたい。減債基金は目標とする水準である。

ゆとりがあると言えるのか  
佐藤恵喜議員

ゆとりある決算状況か。また、指定管理者制度や民間事業委託でコスト削減につながったと考えているか。  
A 決してゆとりがあるとは判断できない。歳入に見合った財政規模への縮小が必要。民間、指定管理者制度に移行

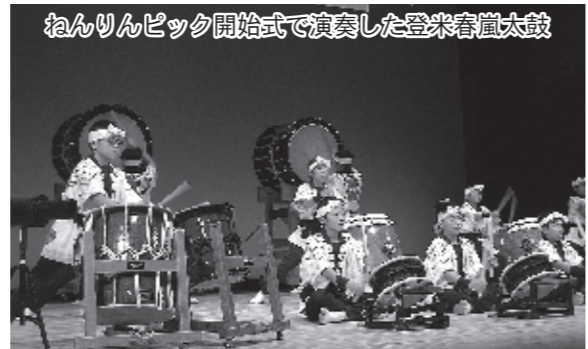
※一本算定：普通交付税の算定を合併前の旧町ごとの合算で行っていたものを、合併市1団体として行うこと。本市の場合、一本算定後は交付税の大幅な減額が想定される。

## ■平成23年度 各種会計の決算状況 (金額は合計に合わせて端数調整)

| 会計名     | 歳入決算額       | 歳出決算額       |
|---------|-------------|-------------|
| 一般会計    | 529億5,432万円 | 493億9,034万円 |
| 特別会計    |             |             |
| 国民健康保険  | 103億6,325万円 | 99億3,475万円  |
| 後期高齢者医療 | 7億 342万円    | 6億9,379万円   |
| 介護保険    | 71億8,452万円  | 71億 509万円   |
| 土地取得    | 1億6,169万円   | 1億6,168万円   |
| 下水道事業   | 50億6,247万円  | 48億8,320万円  |
| 宅地造成事業  | 4億 739万円    | 4億 716万円    |
| 合計      | 768億3,706万円 | 725億7,601万円 |

| 会計名      | 収入額   | 支出額        |            |
|----------|-------|------------|------------|
| 企業会計     | 水道事業  |            |            |
|          | 収益的収支 | 24億2,110万円 | 24億1,918万円 |
|          | 資本的収支 | 7億2,206万円  | 18億3,909万円 |
| 病院事業     | 収益的収支 | 79億7,567万円 | 79億 109万円  |
|          | 資本的収支 | 12億4,794万円 | 15億 51万円   |
| 老人保健施設事業 | 収益的収支 | 3億8,986万円  | 3億8,221万円  |
|          | 資本的収支 | —          | 3,457万円    |

災害復旧・復興に向けての実務的課題は  
浅野 敬議員  
事業の遅れにつながった反省点と改善策は。  
A 震災事業が多くなり、契約が遅れた。必要に応じた柔軟な人員配置を進めるなど、一層の努力を重ねていきたい。



ねんりんピック開始式で演奏した登米春嵐太鼓

## 財政状況

一般会計と特別会計を合わせた23年度決算の実質収支額(黒字額)は24億2290万円となり、財政調整基金に12億円を積み立て、将来負担への備えを行っている。  
地方債残高も22年度対比で

27億円の減となり、公債費縮小への取り組みがみられる。病院事業会計については、一般会計からの繰入額24億6000万円を含む中で、黒字経営の決算となり、経営努力がみられるものの、なお一層の改善が必要とされる。

9月定例会は、9月7日から9月28日までの22日間の会期で開かれました。本定例会では、23年度各種会計決算の認定や条例改正など47議案を審議しました。決算の認定は、決算審査特別委員会(委員長 沼倉利光議員、副委員長 関 孝議員)を設置し、審査を付託。審査の結果、2年連続で不認定とした病院事業会計を含めた10会計の決算を全て認定しました。このほか、市立図書館条例の一部を改正する条例案を否決。本年度一般会計補正予算など36議案と意見書2件を原案通り可決しました。また、一般質問は22人の議員が行いました。

## ■財政分析指標 (単位：財政力指数を除き%)

| 区分      | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 内容                                  |
|---------|------|------|------|-------------------------------------|
| 財政力指数   | 0.37 | 0.35 | 0.34 | この数値が大きいほど財政力が強いといえる(1に近いほどよい)      |
| 経常収支比率  | 91.1 | 86.5 | 87.4 | 市にあっては80%を超えると財政構造の弾力性が失われつつあるといえる。 |
| 義務的経費比率 | 45.0 | 48.6 | 41.6 | この比率が高いほど財政構造の弾力性が低いといえる。           |
| 公債費比率   | 11.1 | 9.9  | 9.4  | この比率が高いほど公債費の増加が将来の住民負担を強いることとなる。   |

## 9月定例会での審議結果(意見が分かれた議案について掲載しました)

| 議員名                 | 議決結果   | 賛成 | 反対 | 採 決 結 果 |       |        |       |       |       |        |      |       |      |       |       |       |       |      |     |       |       |       |       |       |      |       |      |      |       |       |      |
|---------------------|--------|----|----|---------|-------|--------|-------|-------|-------|--------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-----|-------|-------|-------|-------|-------|------|-------|------|------|-------|-------|------|
|                     |        |    |    | 金野 静男   | 工藤 淳子 | 小野寺金太郎 | 武田 節夫 | 遠藤 正一 | 阿部 正一 | 佐々木 順一 | 星 順一 | 及川長太郎 | 浅野 敬 | 二階堂一男 | 相澤 吉悦 | 八木しみ子 | 伊藤 吉浩 | 庄 喜一 | 関 孝 | 田口 久義 | 佐藤 恵喜 | 及川 昌憲 | 佐藤 尚哉 | 沼倉 利光 | 佐藤 勝 | 岩淵 勇一 | 中澤 宏 | 伊藤 栄 | 熊谷 憲雄 | 岩淵 正宏 | 浅田 修 |
| 登米市立図書館条例の一部を改正する条例 | 否決(注1) | 14 | 14 | ×       | ×     | ○      | ○     | ×     | ×     | ×      | ×    | ○     | ○    | ○     | ○     | ×     | ○     | ×    | ×   | ×     | ×     | ○     | ○     | ○     | ×    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○     | 議    |
| 平成23年度登米市病院事業会計決算認定 | 認定     | 27 | 1  | ○       | ○     | ○      | ○     | ×     | ○     | ○      | ○    | ○     | ○    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○   | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○    | ○     | ○    | ○    | ○     | ○     | 議    |

※採決結果欄 ○…賛成、×…反対、欠…欠席、議…議長。(注1)賛成・反対が同数のため議長裁決で否決。

# 成果確認し 認定



決算審査を進める沼倉利光委員長

## 一般会計

### 不用額・不納欠損額大幅増

歳入

Q 不納欠損額が大幅に増加した。未収金の計画的な整理・縮減に向け、どのような収納対策を講じているのか。  
 A 震災の影響に加え、執行停止後、3年を経過した不納欠損が多かった。対策は欠損をしないように、滞納処分や差し押さえ、分納を従来どおり進め、税負担の平等・公平

を害さない対応に努める。

Q 公営住宅使用料の不納欠損110万円の要因と収入未済額3313万円の対策は。  
 A 不納欠損の原因は、債権者4人の死亡・失踪・行方不明等によるものである。

収入未済額の対策は、現年度分の滞納を減らすことを基本に、個別に相談し回収に努める。

歳出

### 総務・民生・衛生費

Q 職員手当等の不用額の内容と発生した要因は。  
 A 内訳は、給料が2968万円、期末手当が3900万円、時間外手当が2770万円である。

病気や産前産後休暇、育児休業などで長期間休んでいる職員分は減額していないため不用額が生じる。

Q 特定検診後の保健指導の受講率が12・6%と県内で30位。何が課題か。  
 A 今年度から保証人を立てていただき、その方にも督促状を送付することで、解消に努めていきたい。

### 教育費

Q 奨学金貸付事業について、延滞金が129件、3000万円を超えている。整理と回収の具体的方法は。  
 A 今年度から保証人を立てていただき、その方にも督促状を送付することで、解消に努めていきたい。

Q 公民館指定管理の成果と課題は。  
 A 地域の方々に公民館に入っていたり、地域活動が十分進んだことが一番の成果である。受託団体や職員の研修、地域リーダーの育成が課題である。

### 一般会計賛成討論

東日本大震災で、市自らの救援・復旧だけでなく、南三陸町や石巻市などへの復旧支援は評価できる。また、住環境リフォーム助成制度、被災住家、納屋など非住家の公費による解体・撤去事業など、市民要望が実現した。

佐藤恵喜議員

(起立多数で認定)



第23回全国消防操法大会に出場した登米市消防団津山支団

### 消防費

Q 対象者にきめ細やかな情報提供をし、その必要性をよく認識していただくことに尽きる。  
 Q 大崎市民病院と石巻日赤病院への救命救急センター負担金で592万円の不用額が出ているが。  
 A 人口割と実績割で負担しているが、23年度は震災の影響で総事業収入および医業収入が増えたことにより、負担金が減少した。

Q 消防団員の定員2053人に対し、現員は1671人、定員充足のための対策は。また、活動に参加できない団員の対策は。  
 A 退団者がある場合、支団幹部や区長さんにお願しいし、新入団員の勧誘を図っている。就業構造が変わり、一度も出勤できない団員もいる。「地域を守る」という意識を高める指導をしていく。

Q 市営佐沼墓地を直営で管理する理由は。  
 A 管理組合の設置は困難である。指定管理ができるか、他市町村の情報を得ながら検討している。

Q 防災無線の故障の原因と対策は。大震災後、防災ラジオ設置の要望が多いが、対応は。  
 A バッテリー、スピーカー

### 病院事業会計

#### 震災で入院収益増

Q この一年改革に取り組んだ成果は。  
 A よねやま病院の診療所化。市民病院にリハビリテーション病棟を設置、運営したほか、看護基準を7対1にして収益を上げた。

Q 自己資本金を取り崩し、累積欠損金を解消する方法を研究、検討しては。  
 A 「資本」という考え方を整理して検討させていた。

Q 震災関連で患者数が増えた。収益への影響は。  
 A 沿岸部の医療機能が被災し、入院で5400人ほど増え、収益増につながったと考えられる。

Q 米谷病院、登米・津山診療所に過疎債適用の考えは。  
 A 病院建設にも使えるので、今後検討したい。

### 反対討論

合併時の累積欠損金は59億円。本年度は106億円に増えた。過去3年間の経営でも実質は赤字で、繰入金で赤字にしているもの。これまでも何ら変わらない状況にある。交付金や市税の減少、各種税や使用料未収、不納欠損金の増に対する改革が求められており、議会には誤りのない判断が求められている。

遠藤 音議員

### 賛成討論

これまでとは違う姿勢の変化を感じる。改善・改革の芽を育てることが大切である。一人の患者を救うため、一人一人が役割を認識し、良い病院をつくる応援をしたい。

浅野 敬議員

(起立多数で認定)



地域をあげて環境保全

# 図書館条例の改正を否決

# 震災復旧・復興に 18億4,093万円

## 災害廃棄物 処理

5億8,002万円

解体撤去の申請期間を6月まで延長。  
住家60棟、非住家81棟の合計141棟分の解体撤去経費と解体した場合の瓦れき等の処理経費であり、現在までの申請件数は全体で2121棟である。

## 被災事業所等 再建支援

1億4,987万円

市単独事業として被災事業所の再建支援を行うもの。これまで8100万円の措置を行っているが、今後66事業所ほどを見込んでいく。  
早期に商店や事業所を再開してもらう趣旨であり、受付期間は10月末を期限としている。

## オランダ風車復旧工事

3465万円



長沼フットピア公園のオランダ風車を修繕するもの。

## 災害公営 住宅整備

1億4,047万円

東日本大震災で住宅を失った方の生活再建を支援するもの。  
今回は東和町米谷、中田町石森、豊里町小口前地内に合計20戸の建設を予定している。

## 市立図書館条例の一部改正

市立図書館の管理を指定管理者に行わせることができる改正。

- Q なぜ市直営ではいけないのか。
- A 基本的な考えは、最小の経費で最大の効果を上げることである。
- Q 司書を配置する確約はできるか。
- A 機能充実のため考慮したい。
- Q 指定管理ありきで順序が逆ではないか。
- A 教育委員会の中で十分議論し、提案した。

### 反対討論

単なる指定管理への移行ではなく、市政の方向や人材育成、まちづくりの観点からしても、重大な内容を含んでおり、拙速で反対。

佐藤恵喜議員

図書館政策の方向転換にあたり、市民との議論をもっと深めるべきと考える。

関 孝議員

### 賛成討論

利用者に不都合はなく、行財政改革は待ったなしであり、賛成。

浅野 敬議員

(投票の結果、賛成、反対が同数のため議長裁決で否決)

## 放棄した債権の報告

4196万円

幼稚園授業料、学校給食費、水道料金、病院事業使用料(医療費)のうち、徴収見込みがないと判断された債権を条例の規定により放棄したもの。

- Q 一般の納付者からすると債権の放棄というのは納得いかないと思うが。
- A 単に期間がくれば自動的に債権を放棄するものではなく、対象となる案件をすべて個別に調査した上で、破産や行方不明等の理由で回収の見込みが望めないものを放棄するものである。
- Q 時効の援用による手続きとの関係について伺う。
- A 時効の援用での対応案件であれば、不納欠損処理できず、適用できない案件について、条例を適用したのが今回の事案である。

### — 放棄した債権 —

|              |        |        |
|--------------|--------|--------|
| 病院事業使用料(医療費) | 2,495万 | 986円   |
| 学校給食費        | 1,023万 | 9,451円 |
| 水道料金         | 672万   | 3,647円 |
| 幼稚園授業料       | 4万     | 8,000円 |
| 合計           | 4,196万 | 2,084円 |

※時効の援用…時効は期間が過ぎれば成立するものでなく、時効により利益を受けるものが、時効成立を主張する必要があること。



地域に親しまれる登米図書館

# 産業経済委員会

## 登米市辺地総合整備計画について

(6月20日調査)  
 辺地債、過疎債を可能な限り利用して、市内全体に福祉、医療等の行政サービスの光を照らしてほしい。電算業務システムの度重なる不祥事は、市民が不信感を抱くものであり、業者も職員も一層緊張感を持って業務に携ってほしい。

## 徴収対策について

(6月25日調査)  
 税務課は、24年4月から税務課3係28人と収納対策課2係11人に分離し、管理監督機能の充実と課税徴収の強化を行っている。

23年度から税外4債権（保育料、住宅使用料、学校給食費、幼稚園授業料）の滞納繰越分の徴収を市税と一体的に管理した結果、徴収額が前年を上回り、成果が上がった。

今後とも、市民から信頼が得られるような課税徴収業務に対する取り組みを期待する。

## 土地改良区2カ所を現地調査

(6月25日調査)

### ① 迫川沿岸土地改良区

・ 水管理システムの概要  
 県営かんがい排水事業で総事業費10億6千万円で整備された。中央監視制御装置で16機場を遠隔操作するもの。

このシステムで、臨時雇用が84人から47人に削減され、ランニングコストの削減につながった。

震災時に排水機場前に集まった大量のゴミ処理については、行政も交えて検討課題とすべきではないか。

### ② 豊里町土地改良区

・ 農村災害対策整備事業『豊里地区』の概要

3つの排水機場により排水が行われている。うち2機場は40年以上経過し、老朽化が著しく、操作設備も手動であることから、24年度から29年度まで、9億4千万円をかけ整備する。

## 共同子牛育成施設について

(7月24日調査)

6月26日にJA江刺キャトルセンターを視察し、今後の対応について協議した。



電算業務システムの現状調査

## 各総合支所に対する住民からの要望事項等について

(6月26日・7月6日調査)

各総合支所は行革により、合併時と比べ職員数が約40%減となった支所もある。市民は支所ですべて解決すると信じている。今後の総合支所のあり様について、市民に広報する必要がある。

## その他の調査事項

- ・ 登米市過疎地域自立促進計画の変更
- ・ 電算業務システム
- ・ 意見交換会にかかる市民意見への対応



畜産担い手事業の畜舎を調査

市とJAみやぎ登米が必要性を検証し、畜産農家への周知を行いながら取り組みを進めるべきである。委員会として、今後も継続し検討していく。

## その他の調査事項

- ・ 人・農地プランの概要
- ・ 意見交換会にかかる市民意見への対応
- ・ 緊急雇用創出事業状況(現地調査)
- ・ 園芸特産重点強化整備事業
- ・ 畜産担い手育成総合整備事業
- ・ 24年度宮城県畜産共進会

# 教育民生委員会

## 指定管理した公民館等、社会教育施設の運営状況について

(6月25日調査)

指定管理している公民館や社会教育・体育施設について、指定管理導入後の効果、課題、問題点など、モニタリングの結果に基づき調査した。

公民館では指定管理料を大きく繰り越したことにより、2団体が課税され、指定管理団体から指導が不適切と指摘されている。受託団体が計画どおりに実施できない場合には、速やかに相談されるのが重要となるので、適切な指導の徹底を図りたい。

## 登米市民病院救急外来棟・地域医療連携センター整備事業を現地調査

(6月26日調査)

医師不足や施設の老朽化等により、救急機能の確保や地域医療連携体制の強化を図る必要があることから、国の地域医療再生事業補助金を活用し整備するもの。

施設整備により救急機能をどう向上させるのか、開業医と病院、診療所の連携を深めることにより、市民サービス



病院事業について調査

はどう向上するのか全体像を示しかねている。建てて終わる施設整備ではなく、早急にソフト面の充実を図ってほしい。

## 意見交換会にかかる市民意見への対応と内容調査

(8月10日・29日調査)

6月4日・5日に開催した市議会意見交換会において、市民から出された質問・意見等に対し、内容の確認のため、担当部局から現状及び市の対応状況について説明を受け内容を調査した。

# 建設水道委員会

## 所管事務について

(6月20日調査)

## 災害復興公営住宅の建設は地元産材で

建設部(6月補正予算)

災害公営住宅整備事業、道路及び下水道施設災害復旧事業が主な内容。災害公営住宅は今回、予定50戸の内、左沼地区(南丁、大網)30戸分、木質化指針に基づく地元産材を活用した建物が計画されている。被災者支援を第一に、一刻も早い建設が望まれる。

災害復旧の工事費については、3月1日付で諸経費に係る率が割り増しされており、工事が少しでも前に進むよう引き続き努力されたい。

## 水道事業所(6月補正予算)

人事異動に伴う人件費補正、決算に伴う消費税等の補正が主なもの。災害復旧については、東日本大震災関係の水道モデル地区ということで、現在、財源等について厚生労働省と交渉を行っているとのこと。引き続き、今後の復興にかかわる財源確保に努められたい。



公共下水道施設災害復旧工事



農業集落排水施設復旧工事

その他の調査事項  
 ・ 意見交換会にかかる市民意見への対応

# 市政

# こころが聞きたい

## 一般質問

一般質問は、9月7日から4日間、22人の議員が登壇し、当面する市政の課題について活発な議論が行われました。

(紙面の都合により内容を要約してお知らせします)

※ 議会ホームページで録画中継をご覧いただけます。



電算室での点検作業

### 問 電算システムを再点検すべし

### 答 検証作業の徹底を図る



相澤吉悦 議員

**問** 市民の方から、年金から特別徴収されているのに、納入通知書が送られてきたとの問い合わせがあった。調査の結果、

保険料などのデータを管理する電算システムを更新し、データを移管する際、コンピューターが一部対象者の徴収方法を誤って判定したことが原因。今後、このような不祥事を絶対起こさないために、システム全業務にわたって再点検していくと

答弁であったが、その後も不祥事が起きている。もう一度問う。電算システムプログラムをメーカーの責任において再点検すべし。さらに今後不祥事を絶対起こさない対策を検討すべきと思うが。

は、再発防止に向けたより一層の取り組みを求めていく。  
**問** 東日本大震災で土地の地形が変わったり、全半壊等により解体撤去した建物が相当数あると思う。固定資産の再調査をするべきと思うが。

**答** 電算処理に係る作業手順の見直しや、検証作業の徹底を図るとともに、今後、このような事故が二度と発生しないよう各担当部署におけるチェック体制の強化、株式会社インテックに対して

**答** 今後の再調査については、課税物件の適正な捕捉と評価のため、市内全域を対象とした全棟調査実施を念頭に、公平、公正な課税に努めていく。

### 問 防災士の養成をどう考える

### 答 全組織に防災指導員の配置を



二階堂一男 議員

**問** 自主防災組織の活性化と災害時に指導的役割を担う防災士を養成すべきと思うが。

**答** 防災士は、日本防災士機構の資格試験に合格し登録を受けた者で、災害時に公的機関が到着するまで、被災者支援や被害の軽減、平常時においては、防災意識の啓発、自助、共助の支援を行うとされている。本市としては県の防災指導員養成事業を活用

し、防災指導員養成講座を4回実施し、164人の方が認定されている。自主防災組織のおよそ3分の1の組織で活躍している。今後とも県と連携し、全ての防災組織への配置を目指していく。

**問** 市内の障がい者施設で生産される食材をもっと学校給食等に活用し、活動と生活の支援を行うべきと思うが。

**答** 福祉施設からの生産物や製品については、これまででも学校給食等に利用してきたが、4月に策定した第二期地産地消推進計画の中で利用拡大を進めることとしている。福祉施設側の安定的な供給体制を整えば、学校給食への利活用を拡大していく。こういう生産物、製品が提供できるのか、あらためて話し合う機会をできるだけ早い時期につくっていききたい。



油揚げをつくる「はらから福祉会 登米大地」



通学路の安全点検

### 問 通学路の安全対策を

### 答 関係機関との連携で万全を期す



佐藤 勝 議員

**問** 本年4月京都で自動車を通学児童の列に突っ込み、10人が死傷した事故以来、登下校時の死傷

事故が続いた。このことから全国的に通学路の総点検や安全対策が求められている。  
①本市の通学路の総点検結果について概要を伺う。  
②点検結果に基づく諸対策はどうか。  
③今後も継続的に安全点検を行うべきだが、どのような形で行うか。

**答** 通学児童の死傷事故が相次いでいることから、教育委員会では京都府の事故を受け、市内小中学校に対し、通学路の点検徹底と児童生徒の安全確保の徹底を指示した。  
①7月末までに危険箇所

の再調査を行った。その結果、歩道の確保38カ所、道路拡幅改良25カ所、見通しの改善24カ所、横断歩道の設置要望21カ所等々の危険要注意箇所が212カ所であった。  
②8月には国交省・県土木・警察署などで危険箇所の合同調査を行い、その内容を協議の上、助言を得ながら対策を立て、順次実施の働きかけを行う。  
③今後も年度当初の調査とともに警察、道路管理者等関係機関とも連携を取りながら万全を期す。  
その他の質問  
・一時保管されている汚染稲わら及び堆肥の最終処分について



本当にこの敷地で大丈夫か？

**問** 24年9月に実施計画に入る予定だが、これまでの準備、検討委員会等会議の中で、青写真がで



及川長太郎 議員

**問 総合産業高校の進捗状況は**  
**答 希望が持てる内容を県に要請**

**問** 27年4月開校に向けて、本市の中学生の希望や期待に十分応え得る高校であってほしい。新築計画は公表されていないが、県で公表している概要書を参考に、大まかな配置については、現地で

**答** 27年4月開校に向けて、本市の中学生の希望や期待に十分応え得る高校であってほしい。新築計画は公表されていないが、県で公表している概要書を参考に、大まかな配置については、現地で

**問** 新設校の特徴を十分に引き出せる環境が整備されるが、今後不都合が発生する要素はないか。

**答** 6学科1学年240人、全校で720人が学校生活を送る。十分な広さが確保でき、学習、部活動に支障がないよう県に要望している。

**問** 登米地域のパートナーシップ会議の内容は、地域にある産業界、行政、教育機関等との強いパートナーシップを構築し、地域に根ざした実践的活動の展開、検討等を行っている。

**答** 登米地域のパートナーシップ会議の内容は、地域にある産業界、行政、教育機関等との強いパートナーシップを構築し、地域に根ざした実践的活動の展開、検討等を行っている。

**問** 八戸までの三陸自動車道建設が、10年後の開通を目指し、工事が進んでいる。現在、休憩所が



金野静男 議員

**問 登米市内の三陸道に休憩施設を**  
**答 設置に向け国に強く働きかける**

**答** 大震災で高速道路の重要度が再認識され、復興道路として今整備が進められている。国交省東北地方整備局では設計要領で25キロに1カ所設置す

**答** 汚染堆肥は製品状態で産業廃棄物として処理する予定で、処分場の関係自治体と今調整を図っている。汚染稲ワラ2300トンは指定廃棄物として国の責任で早期に最終処分されるよう、強く要請していく。

**問** 市内に保管されている放射能汚染の稲ワラや堆肥の処理の見通しは。また、各農家へのチラシで「今年の稲ワラ等は家畜への給餌以外、燃やさないで、すき込んで下さい。」とのこと。汚染されているとの判断なのか問う。

**答** 汚染堆肥は製品状態で産業廃棄物として処理する予定で、処分場の関係自治体と今調整を図っている。汚染稲ワラ2300トンは指定廃棄物として国の責任で早期に最終処分されるよう、強く要請していく。

**問** 24年度事業として、東出張所の移転建設事業が計画され、二回の請願が提出されたが、その後

**答** 国が定める消防力の整備指針をもとに、出場から現場到着まで走行時間10分以内のカバー率が高くなる場所を基本に、地域の防災拠点施設としてふさわしい建設場所を早急に選定する。



移転計画のある東出張所

**問** 24年度事業として、東出張所の移転建設事業が計画され、二回の請願が提出されたが、その後



小野寺金太郎 議員

**問 消防署、東出張所の建設計画は**  
**答 カバー率の高い現場到着10分以内**

**答** 国が定める消防力の整備指針をもとに、出場から現場到着まで走行時間10分以内のカバー率が高くなる場所を基本に、地域の防災拠点施設としてふさわしい建設場所を早急に選定する。

**問** 漏水を防止するため、老朽化した各配水管の取り替え工事を行っている。しかし、本市の有収率が高いとは言いがたい。今後の方策を問う。

**答** 本年度においてこれまでの各配水管の更新事業から26年度までの整備完了に繰り下げ変更し、整備を図っていききたい。

**問** 水道の有収率を高める向上策は

**答** 業に加え、配水管の水量と水圧を細かく管理する配水ブロック化により、さらなる有収率の向上と安定化を図るべく、配水ブロック化の基本計画を耐震化計画とあわせて策定することとしている。

**問** 今後投資効果が十分に発揮できるよう、各種の対策を効果的に組み合わせ、着実に有収率の向上を図っていききたい。



空き家対策が求められる（登米市街地）

**問** 市街地には、長年住んだ形跡のない空き家が数多く現存している。地域の安全・安心とい



伊藤 栄 議員

**問 空き家対策で条例設置を**  
**答 必要に応じて検討する**

**答** 空家は、その所有者又は管理者が適正に維持管理をすべきだが、近年の多様化する災害を念頭に市内で調整会議を開催している。

**問** 今後、所有者や管理者に対し、補修・撤去等の要請など、適正な空き家の管理を指導をしていく。なお、条例制定については、この取り組み状況を踏まえ、必要に応じて検討する。

**問** 新懐古館の建設を

**答** 懐古館の整備については、総合計画の実施計画には計上していないが、登米市公共施設適正配置計画を策定する中で精査していく。



おじいちゃん、おばあちゃんと昼食会（米谷公民館）

**問** 愛媛県西条市では、自主防災組織の活性化を図るため、防災士育成事業や小学6年生を対象に



工藤淳子 議員

**問** 防災士の養成と12歳教育を  
**答** ささらなる拡充・充実を目指す

「子ども防災サミット」を開催している。子どもサミットでは、体験活動や意見交換から災害に遭遇した時に適切な判断力や思考力を発揮できる力を磨いている。市として、こうした取り組みをする考えはないか。  
**答** 今後も県と連携しながら防災指導員の養成講



浅野 敬 議員

**問** 合併効果は予期した通りの発露か  
**答** 市民バスの運行・サービス平準化

**問** 市職員の能力向上面で重視するのはゼネラリストかスペシャリストか。また異動サイクルは

適切か。  
**答** 採用時から中堅職員となる過程では幅広い人事異動を、一方専門的な知識・技術を必要とする部署ではスペシャリストの育成・配置を計画的に行ってきた。  
**問** 特別職等は今後も県OBに頼るのか。  
**答** 外部の人材登用と併

せ、内部の人材育成も適確に進めていく。  
**問** 市民サービスを低下させずに、総合支所体制に代り得る仕組みの目途は。

**答** 総合支所の今後は、諸証明の交付や福祉サービス等の申請受付、相談及び行政区・コミュニティ団体への支援等の業務に特化した体制に移行させたい。  
**問** 中心部の繁栄と周辺部の衰退は必然か、人為か。布施市政は周辺部への目配りが不足では。

**答** 佐沼小学校を始め、危険校舎の改築や市民バスの運行、登米ブランドの創造のほか、福祉政策、子育て支援など各種行政サービスの平準化に取り組んできた。ご指摘の点があれば今後に生かす。  
**問** 病院事業会計への繰出金の額は現状が適正と考えているのか。  
**答** 繰出し基準内を基本とするが、不良債務の解消を図るためにも、基準以外の財政支援が一定期間は不可欠と考える。

**問** キャベツの価格補償継続を  
**答** しっかりと考える



佐藤恵喜 議員

**問** 猛暑でも電気は足り、原発なしでやっていけることが証明された。「新規増設は認めず10年

以内に廃炉」という市長の姿勢は変わらないか。  
**答** 現在もこの考えに変わりはない。安全神話は崩壊。省エネ、節電の取り組み、再生可能エネルギーの推進が重要だ。  
**問** 平成27年4月に開校する（仮称）登米総合産業高校。計画案ではグラウンドが狭すぎる、食品

以内に廃炉」という市長の姿勢は変わらないか。  
**答** 現在もこの考えに変わりはない。安全神話は崩壊。省エネ、節電の取り組み、再生可能エネルギーの推進が重要だ。  
**問** 平成27年4月に開校する（仮称）登米総合産業高校。計画案ではグラウンドが狭すぎる、食品

**問** 生涯学習推進計画には「市民ニーズの把握」を明記している。年間行事（業務）等の比較から



岩淵正宏 議員

必要である。

**問** 公民館指定管理委託後の成果は  
**答** 事業実績に大きな違い、要因を精査

**問** 公民館指定管理委託後の成果は  
**答** 事業実績に大きな違い、要因を精査

また、小・中学校における防災教育の更なる充実を図るために、「子どもサミット」を参考にし、推進していく。  
**問** 障がい者・独居高齢者等が、地震などの災害時における支援を地域の中で受けられるようにするための「災害時要援護者支援制度」が進んでいないと聞いているが。

**答** 要援護者の登録の在り方など、支援マニュアルを検証していく。  
**問** 1歳まで利用できる親にとっては何とでもありがたい制度だが、未熟児などで出産した親には使いにくい。購入できる対象を増やせないか。  
**答** 乳児が使用する用品の購入費用の一部を支援する目的で制度化したものの、理解してもらいたい。

使いやすい子育て用品支給券に



消防訓練を見学する幼年クラブ

**問** 23年度をみると主催・共催事業で、米谷公民館が114回、南方公民館では14回の開催となっている。教育事務所が中心となり活動が思わしくないところに助言すべきではないか。  
**答** 実績状況に大きな違いがあるので、要因についてはしっかりと精査し、部局内で対応できるようにしていきたい。  
**問** 減免団体の使用料については、冷暖房料も減免すべきと考えるが。

**答** 公民館施設だけでなく、大きなくくりの中で検討していく。  
**問** 山林除染の対策は  
**答** 山林除染の対応を国・県に求めるべきではないか。  
**答** 本市の4割以上を占める広大な森林除染については、独自の取り組みは大変困難な状況。国における除染方法等の動向を見極めながら、対応していきたい。



迫庁舎から望む市街地

※ゼネラリスト：いろいろな分野の知識や能力を持っている人





顔なじみの移動販売車

**問** 買い物難民と呼ばれる市民が多い。国も支援対策事業の策定に取り組んでいる。本市では



佐藤尚哉 議員

**答** 買い物難民とされている。国も支援対策事業の策定に取り組んでいる。本市では

**問** 買い物難民とされている。国も支援対策事業の策定に取り組んでいる。本市では

**答** 買い物難民とされている。国も支援対策事業の策定に取り組んでいる。本市では

**問** 団塊の世代が65歳を迎えることで高齢人口が急速に増加する。在宅福祉を重視した施策や公的



八木しみ子 議員

**答** 団塊の世代が65歳を迎えることで高齢人口が急速に増加する。在宅福祉を重視した施策や公的

**問** 買い物難民とされている。国も支援対策事業の策定に取り組んでいる。本市では

**答** 買い物難民とされている。国も支援対策事業の策定に取り組んでいる。本市では

**問** 2年間の成果と経済効果はどれ程だったのか。さらに継続する考えは。

**答** 2年間の成果と経済効果はどれ程だったのか。さらに継続する考えは。

### 問 高齢者福祉対策の構築は 答 しっかりと全般的な対応を整える

**問** 介護予防や認知症対策事業を実施し、尊厳ある生活の実現を図る。介護が必要な方々には介護福祉サービスなどの充実を図り、確実な給付を実施する。

**答** 介護予防や認知症対策事業を実施し、尊厳ある生活の実現を図る。介護が必要な方々には介護福祉サービスなどの充実を図り、確実な給付を実施する。

**問** 高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活ができるよう地域福祉社会の構築に向けての考えは。

**答** 高齢者が住み慣れた地域で、尊厳ある生活ができるよう地域福祉社会の構築に向けての考えは。

**問** 介護予防や認知症対策事業を実施し、尊厳ある生活の実現を図る。介護が必要な方々には介護福祉サービスなどの充実を図り、確実な給付を実施する。



被災地で捜索活動を行う消防職員

**問** 本市消防職員の特殊勤務手当は、平成20年2月定例会において改正案が否決され、21年度から



星 順一 議員

**答** 本市消防職員の特殊勤務手当は、平成20年2月定例会において改正案が否決され、21年度から

**問** 災害復旧事業は、予算化はされたものの国の査定が遅れ、事業量が膨大で事業者が不足しているなど四苦八苦している

**答** 災害復旧事業は、予算化はされたものの国の査定が遅れ、事業量が膨大で事業者が不足しているなど四苦八苦している

### 問 命がけの活動に危険手当の支給を 答 しかるべき提案準備を進めている

**問** 命がけの活動に危険手当の支給を

**答** 命がけの活動に危険手当の支給を

**問** 命がけの活動に危険手当の支給を

### 問 害虫アメリカシロヒトリの駆除を 答 早急に調査し対策を講じる



関 孝 議員

**問** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**答** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**問** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**答** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**問** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**答** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**問** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**答** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**問** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**答** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早

**問** 害虫アメリカシロヒトリが大発生し被害が拡大している。市民の協力を得ながら駆除対策を早



アメリカシロヒトリに食い尽くされた桜並木



元気ハツラツ ゲートボール大会

### 問 買い物難民問題の解決に向けて 答 モデルの構築をサポートしたい

**問** 買い物難民問題の解決に向けて

**答** 買い物難民問題の解決に向けて

**問** 買い物難民問題の解決に向けて



佐藤尚哉 議員

**答** 買い物難民問題の解決に向けて

**問** 買い物難民問題の解決に向けて

**答** 買い物難民問題の解決に向けて



農業の6次化を進める伊豆沼農産

**問** 将来の財政見通しから見た公共施設の適正規模を図るため、公共施設白書の作成を提案し、市



遠藤 音 議員

**問** 27年にあるべき姿を市民に示したい

**答** 公共施設の適正配置計画の策定を23年度から取り組み、施設利用、維持管理費等の調査を実施。本年、市民代表を交えた公共施設適正配置計画策定委員会と職員によ

**問** 国の6次化産業法の認定を受けた事業者は東

**答** 休日の利用は機器のメンテナンス等の課題があり、現状の受け入れ対応としたい。また、堆肥へ草木類を加えると成分の安定を図るのが難しく、活用は困難と考える。

**問** 日本の人口は年々減少し、2100年には現在の3分の1以下になると言われている。本市に



田口久義 議員

**問** 人口減少時代のまちづくりは

**答** 各種計画に盛り込み、取り組む

**問** 今後進むと思われる空き家対策、無居住集落の対策として、居住区の整理統合やコンパクトな

**答** 訪問診療、訪問看護による在宅医療の充実を目指したい。買い物に対しては共助に基づく民間事業者のモデル構築を支援していく。



将来を担う子どもたちのために



最終処分場 浸出水処理施設

**問** 最終処分場の建設は平成27年度完了の当初計画を早めるようだが、場所の正式決定と関係する



佐々木 一 議員

**問** 新たなごみ処理施設建設に配慮は

**答** 地域の理解を得ながら進める

**問** 温水、余熱の有効利用策についての考えは

**答** 施設入所待機者解消策として、地域密着型特別養護老人ホームを7カ所203床整備したが、解消したという声が聴かれな

**問** ごみ処理施設の課題は、年間5千トンを埋立て続けなければならない最終処分方法だ。市長はこ



中澤 宏 議員

**問** 進化するごみ処理への挑戦は

**答** 新しい視点、可能性追求してみる

**問** 総工費70億円を越す

**答** 東大剣道部夏季合宿招致について



クリーンセンター (豊里)

問 県の二次医療圏見直しへの対応は



沼倉利光 議員

答 登米医療圏の受け皿づくりをする

問 第6次県地域医療計画の策定に向け、二次医療圏を再編する方針である。再編計画は、登米地

域の医療にとって重要な案件であり、市の対応と病院改革プランの見直しの必要はないか伺う。  
答 市は医療圏の再編に当たって、入院患者の流出率等統計的な問題だけでなく、地域による診療科目や高度医療の偏りなど、医療の現状をきちんと捉えた上で検討を行う

べきと要望している。第2次改革プランは、市立病院、診療所の役割について、新たな圏域内における機能分担という視点から見直しの必要があると認識している。

問 市外への流出患者が44.8%に増えている。最近の救急車出動状況は。  
答 医療が高度化、専門化され、市の医療領域が小さくなっている。救急搬送は平成20年で大崎市民病院へ203人、23年は227人、日赤は20年

に227人、23年は538人で2.3倍になっている。

問 現状は医療のデフレスパイラル状況にある。市は医療の完結を目指すなら、3病院は病棟数等の施設、医療機器の整備をし、医師と市民が満足する施策を。  
答 決して縮小することが市の目的ではない。必要な部分を検証することが必要と思う。登米医療圏の受け皿について、医療局としっかり連携をとって取り組みにあたる。

問 無認可保育所を利用している母子家庭に対する保育料の助成について。認可保育所に入れない母子家庭が認可外保育所に入所する場合、減免を受けられる制度がなく保育料に差が生じる。格差を是正するための方策が必要では。  
答 生活していく上で大変な状況に置かれている皆さんが、優先して認可保育所に入所できる環境を整えるべきと思う。ど



救急搬送の4割が市外へ

問 善王寺コミュニティセンターにAEDを

答 配置について前向きに実施する



武田節夫 議員

問 善王寺コミュニティセンターへのAEDの設置について。善王寺地区の多目的施設であり、各

種団体のスポーツ行事や、地区の合同自主防災訓練等、多くの住民が利用している施設なので早急にAEDを取り付けるべきと思うが。  
答 リース契約が終了となるAEDの更新作業に合わせ、町域内での設置場所を再検討し、対応していく。

問 母子家庭の保育料

企業誘致を

問 無認可保育所を利用している母子家庭に対する保育料の助成について。認可保育所に入れない母子家庭が認可外保育所に入所する場合、減免を受けられる制度がなく保育料に差が生じる。格差を是正するための方策が必要では。  
答 生活していく上で大変な状況に置かれている皆さんが、優先して認可保育所に入所できる環境を整えるべきと思う。ど

問 旧善王寺小学校の敷地の活用と企業誘致とのかわりは。  
答 校舎や体育館を解体し、企業用地としての活用も検討しているが、敷地が遺跡に指定されているので立地業種は限られてくる。企業用地としての利用も含め、市民等のアイデアを活用しながら進めていく。

問 旧善王寺小学校の敷地の活用と企業誘致とのかわりは。  
答 校舎や体育館を解体し、企業用地としての活用も検討しているが、敷地が遺跡に指定されているので立地業種は限られてくる。企業用地としての利用も含め、市民等のアイデアを活用しながら進めていく。



救命講習会

問 いじめ調査に疑問がある

答 調査の結果である



阿部正一 議員

問 大津市のいじめ問題で教育委員会にメスが入った。幾度となくこの問題をとり上げた者とし

て、いささか取り組みが遅いと感じている。もう少し取り組みが早ければ多くの子供たちや現場の先生方が救われたのではないかと思う。答弁では、文科省のいじめ調査で、本市はいじめゼロ、市独自調査もゼロとあるが間違いはないのか。独自の調査では、自己申告

でいじめられた数字が上っているとある。その数字をお話し頂きたい。  
答 調査をした結果ゼロである。

問 なぜ自己申告が上っているのに数字を出せないのか、隠蔽工作ではないのか。  
答 最終的に学校で判断し、いじめゼロである。

問 本市では施設一体型の小中一貫校と施設併設型の小中一貫校、現行の教育と3通りの指導をし

ているが、教育委員会で方向性について、どれだけ議論したのか。  
答 教育委員会では十分話し合いをしていない。

問 農振法の網を外しては

問 迫町の石打坂バイパス整備に伴い、周辺農地の農振法の規制を外してはどうか。  
答 今、県と意見交換をしている状況である。その他の質問

問 今、県と意見交換をしている状況である。その他の質問  
・市長選について



9月定例会

人事

人権擁護委員候補者の推薦に同意

- 須藤 勇一 さん(中田) 及川 さよ子 さん(中田)
吉田 たか子 さん(豊里) 佐々木 恵子 さん(南方)
須藤 典彦 さん(津山)

人権擁護委員候補者の推薦を適任と決定しました。

意見書

- 地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書
登米地区統合高校（仮称）登米総合産業高等学校の敷地面積拡大と設計見直しを求める意見書
提案された2件の意見書は本会議で可決し、関係機関へ送付・提出しました。

議会の動き

7月

- 4日 広島県東広島市議会行政視察来庁
6日 総務企画委員会
9日 議会改革推進会議
10日 広報広聴委員会行政視察（～11日）
11日 静岡県掛川市議会行政視察来庁
新潟県阿賀野市議会行政視察来庁
13日 広報広聴委員会
18日 広報広聴委員会
19日 山形県鮭川村議会行政視察来庁
23日 教育民生委員会行政視察（～25日）、建設水道委員会
24日 産業経済委員会
26日 広報広聴委員会
27日 千葉県木更津市議会行政視察来庁
28日 産業経済委員会行政視察
30日 総務企画委員会、議会改革推進会議
31日 広報広聴委員会

8月

- 1日 総務企画委員会行政視察（～3日）
2日 福岡県田川市議会行政視察来庁、議会運営委員会
3日 埼玉県戸田市議会行政視察来庁
6日 産業経済委員会行政視察（～8日）
7日 建設水道委員会行政視察（～9日）
10日 教育民生委員会、第3回一関市議会・登米市議会・栗原市議会議員交流会
20日 千葉県野田市議会行政視察来庁
21日 議会改革推進会議
24日 正副委員長会議
27日 埼玉県熊谷市議会行政視察来庁
29日 教育民生委員会
31日 議会運営委員会、政策企画調整会議

9月

- 6日 新潟県魚沼市議会行政視察来庁
7日 第3回定例会開会（～28日）
11日 広報広聴委員会
12日 東日本大震災調査特別委員会
21日 議会改革推進会議
26日 議会運営委員会
27日 岩手県平泉町議会行政視察来庁

# あなたの声 市民 メッセージ わたしの提言

ご意見等をお寄せいただきましたので、ご紹介します。

## 登米市に暮らして



白石 小奈美さん  
(中田)

美しい四季と旬の食材に恵まれた登米市での生活も12年になりました。自然豊かでお米が美味しい。そして何よりも人が温かく、とくに地域の方々は「まざらいん」と声を掛けていただき、地域の行事や郷土料理など、様々なことを教えて頂いています。子どもたちにおいても登下校中に地域の方々と交わす挨拶は好ましく、見守っていただいていると感じています。

人と人とのつながりの中、子どもと高齢者が笑顔で暮らせる登米市であってほしいと思います。そのためには医療や雇用など、浮かびあがる問題もありますが、市民としては関心をもち、よりよい市づくりに進むべく協力を努めたいと思っています。そして願わくは、子どもたちがふるさと登米市をずっと好きでいてほしいと思います。

## 総務企画委員会

8月1日~8月3日

**岐阜県中津川市**  
「行財政改革について」  
本市と同規模自治体だが中津川市は財政健全化に危機感を持ち取り組んでいる。  
職員数はすでに781人に削減され、公債費負担適正化計画や、公共施設カプル等を作成し統廃合を推進している。行革を着実に進めるため「ロードマップ」を作成し公表もしている。本市も参考にすべきと考える。

**愛知県豊橋市**  
「地域防災計画について」  
観光地の高山市では、第5次行革において、市民の協働と情報公開日本一を目指し、予算編成過程からの公開も行われている。  
職員数は450人の削減計画が進められているが、観光のまちづくりのなか、「さわやかマニュアル」を基に接遇力強化に取り組んでいる。本市でもマニュアルを改善しさらなる活用を期待する。

**その他の視察項目**  
愛知県豊橋市

## 教育民生委員会

7月23日~7月25日

**高知県安芸市 安芸広域市町村圏事務組合**  
「安芸メルトセンター」  
最終処分場を必要としないガス溶融炉方式で、熱エネルギーは、発電や給湯に利用されている。本市の新しいごみ処理場の建設にあたり、最小の処理コストを優先させるか、完全リサイクルによる環境を優先するか、政策判断が問われる。

**愛媛県伊予市**  
「食育の取り組み」  
家庭や学校、生産者、行政が連携し食育を推進。幼稚園・保育所では、調理体験「キッズキッチン」が展開されており、本市でも参考にすべきである。

**愛媛県西条市**  
「12歳教育推進事業」  
「災害に強いまちづくり」  
を指し、12歳(小学6年生)を対象に、防災キャンプなどをおし、防災リーダーを育成している。水害経験の無い本市の子どもたちへの防災教育を早急に取り組むべきである。

## 産業経済委員会

8月6日~8月8日

**新潟県燕市**  
「地場産業の振興」  
新しい活力を創造する政策として「ものづくり活性化の支援」を行っていた。試作段階での支援に加え、完成した段階で最終補助を行うなど、政策にかける市の意気込みが感じられた。  
観光商品の開発・情報発信に努める施策の展開などは学ばべきと思われる。

**富山県入善町 (株)ウーケ**  
「無菌包装米飯の製造」  
(株)ウーケでは、1日12万食の無菌包装米飯を生産している。富山県産コシヒカリが中心だが、登米市産ひとめぼれも商品に使用されている。  
本市農業の振興では、安全性とハイテクオリテイの追求、異業種との連携や独自の業務化を図り、6次産業を積極的に推進すべきと考える。

**その他の視察項目**  
・らせん水車使用の小水力発電実証実験の取り組み/海洋深層水を活用したまちの活性化(富山県入善町)  
・林業振興策(富山県富山市)

## 建設水道委員会

8月7日~8月9日

**大分県臼杵市**  
「街並み環境整備」  
歴史的建造物、景観の維持と整備に力を入れている。観光地化だけではなく、日常生活の中に溶け込ませる手法は見事。一面、多大な事業費は今後の課題である。  
みやぎの明治村という歴史的財産をもつ登米市。良好な景観形成のため継続的な取り組みが必要である。

**大分県宇佐市**  
「浄水場の運転管理」  
山本浄水場は原虫類・細菌類を完全除去するセラミック膜ろ過浄水方式。高濁時にも安定し、長寿命の特徴を持つが費用が多額。採用には財政状況を勘案した慎重な判断が必要である。

**福岡県福岡市**  
「配水調整システム」  
市内の給水区域を21ブロックに分割し、徹底した節水を図り、配水の有効率は97.6%と高率。82%台の登米市は大いに参考にし、有効率・有収率向上対策に取り組む必要がある。

## 登米市に望む

昨年3月に発生した東日本大震災は、各地に未曾有の被害をもたらしました。登米市では復旧工事が進み、街並みは震災前の状態に戻りつつあります。しかし、山を一つ越えた隣の南三陸町や石巻市では町がなくなるほどの被害を受け、復旧、復興に向けて、少しずつ前進はしているものの、まだまだ住民が安心して暮らせる状況ではないのが現状です。そんな中でも、被災地では復興イベントが開催されており、私も参加させていただいています。ですが、困りを見渡すと県外からのボランティアの方やお客様が多く、地元の方々には、雇用問題、子育て環境整備等が挙げられます。これからの登米市に望むことは、身近な問題解決に力を入れ、人が集まるまち、若者が楽しめるまちづくりを目指していたきたいと思います。



後藤 華恵さん  
(登米)

## 私は今、願っています



大森 厚子さん  
(津山)

登米市でも少子高齢化が進む中で、医療の充実が最も必要なものと感じていました。最近「市議会だより」を見て登米市民病院に救急外来棟が新設されることを知りました。二次医療までの受け入れ体制を強化することは、非常に心強く感じています。

しかし、本当に必要とされている産婦人科・小児科の医療体制はまだまだ整備に至らず特に子供の休日、夜間の急病等は市外での受診を余儀なくされているのが現状です。このような状況では、小さな子供を持つ親、里帰り出産を予定している方にとっては不安が尽きません。

医師の招聘は、非常に困難なことと思いますが、将来、市民が安心して暮らせるまちにするためにも、今後とも議員の皆様には市民の声に耳を傾け献身的にご活躍されますことを期待しています。